

会 議 録

1 会議名

令和4年度第7回大島区地域協議会

2 議題（公開）

1 報 告

(1) 「大島中学校の廃止について」の答申に対する通知について

2 協 議

(1) 答 申

・諮問第108号 あさひの里田麦ぶなの森園の廃止について

(2) 出張地域協議会について

3 その他

(1) 第8回地域協議会の開催日について

3 開催日時

令和4年10月26日（水）午後2時から2時50分まで

4 開催場所

大島就業改善センター3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：飯田多津子、飯田敏郎、内山元栄、武田昌午、武江一義、中村朝彦、丸田
新一、丸田松男、山岸久雄、吉野健治

・大島区総合事務所：岩野所長、岩野次長、武田市民生活・福祉グループ兼教育・文
化グループ長、総務・地域振興グループ 高橋班長、佐藤主任

8 発言の内容

【丸田会長】

・会議の開会を宣言

- ・挨拶
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・本日の会議録の確認は委員番号3番の飯田敏郎委員にお願いします。

【丸田会長】

- ・報告事項（1）「大島中学校の廃止について」の答申に対する通知について、事務局に説明を求める。

【岩野次長】

- ・8月31日（水）の第5回地域協議会において、諮問があり、当日に答申するという事で、委員の皆さんから協議いただき答申した。その答申に対し、教育総務課から9月16日付けで、大島中学校の廃止について通知があった。
- ・通知は、諮問のとおり、大島中学校を令和6年3月31日付けで廃止し、市議会に所要の条例案を提出するという内容である。

【丸田会長】

- ・事務局の説明に対し、質疑を求めるもなし。
- ・協議事項（1）答申 諮問第108号 あさひの里田麦ぶなの森園の廃止について、事務局に説明を求める。

【岩野次長】

- ・9月27日（火）の第6回地域協議会において、あさひの里田麦ぶなの森園の廃止について諮問があった。農林水産整備課から説明させていただき、委員の皆さんから協議いただいた。今回は、あさひの里田麦ぶなの森園の廃止について、地域住民の生活への支障の有無、附帯意見について答申いただきたい。

【丸田会長】

- ・事務局の説明に対し、質疑を求めるもなし。
- ・諮問第108号 あさひの里田麦ぶなの森園の廃止について、地域住民の生活への支障の有無について、委員の皆さんの意見を伺う。

【山岸委員】

- ・本件については、地元集落として、ぶな林がなくなるわけではなく、地権者の了解を得ているとのことであるので、特に言うことはない。細かい点については、前回の地域協議会において依頼したとおりの形で進めていただきたい。

【丸田会長】

- ・他に意見を求めるもなし。
- ・あさひの里田麦ぶなの森園の廃止について、地域住民の生活への支障はなしとして答申してよいか。

（「はい」の声）

- ・次に附帯意見の有無について、委員の皆さんの意見を伺う。
- ・意見を求めるもなし。
- ・あさひの里田麦ぶなの森園の廃止について、附帯意見はなしとして答申してよいか。

（「はい」の声）

- ・あさひの里田麦ぶなの森園の廃止について、地域住民の生活への支障はなし、附帯意見はなしとして答申することとする。
- ・協議事項（2）出張地域協議会について、事務局に説明を求める。

【岩野次長】

- ・資料No.2に沿って説明。
- ・前回の地域協議会後の勉強会において、出張地域協議会は、地域から情報収集するための一つの方法としても行っていたということから、出張地域協議会の在り方や今後の取組を決めていく必要があるということで、話をさせていただいた。
- ・今回、地域協議会の中で、今年度及び今後の出張地域協議会の取扱いや取組について、委員の皆さんで協議いただきたい。

【丸田会長】

- ・前回の地域協議会後の勉強会で出張地域協議会について、皆さんから意見を聞いた。今回、出張地域協議会の取扱いについて決めたい。
- ・勉強会においては、出席委員8名のうち、今年度は中止すべきという意見が4名、地域の集まりに開催日時を合わせる、または開催場所を絞って実施すべきという意見が4名であった。
- ・まずは、前回の勉強会を欠席した委員の意見を聞きたい。飯田（敏）委員から意見を聞くこととする。

【飯田（敏）委員】

- ・出張地域協議会は、今後やめた方がよいと思う。意見交換会の内容が、地区別懇談会とほとんど同じになるからである。あまり参考になる意見もなかったと思う。出

張までして実施する意義がないと思う。

【中村委員】

- ・出張地域協議会は、地域協議会が地域に出向くことと意見交換会の実施の2つの意義がある。この会場で地域協議会を行っていても地域住民は見に来ない。今後のことも考えると、地域協議会が何をやっているのか地域住民に知ってもらうためにも実施すべきである。
- ・意見交換会についても私達だけでは出てこない話もあり、参考になるし、参考にすればよいと思う。
- ・前年度に4地区で出張地域協議会を実施したが、旭地区と菖蒲地区、特に菖蒲地区で、あまりよいイメージがなかったため、保倉地区と大島地区だけで実施すればよいと思う。

【武江委員】

- ・今までの状況を鑑みて、意見交換会の出席者は町内会長や地区振興協議会長の皆さんで固定化されているし、これからも他の住民の出席が望めないと思われるので、出張地域協議会をやめた方がよいと思う。

【岩野次長】

- ・意見交換会の出席者が少ないということについて、その要因を分析し、どのようにすれば人が集まるのかという協議も必要ではないか。

【丸田会長】

- ・令和2年度の第3回地域協議会において、今期の4年間、出張地域協議会を実施するという事で委員の皆さんから承諾いただいた経緯があるので、私は出張地域協議会を続けたいと思う。
- ・委員の皆さんの意見は、今後実施しないが2名、今年度は中止が4名である。確かに、昨年度の旭地区と菖蒲地区は、出張地域協議会を実施しても、いかななものかという反応があった。
- ・平成29年度から続けている保倉地区と大島地区はある程度人が参加することが見込まれる。意見交換会は、地区要望と同じ意見が出ることもあるが、それも地域住民の意見として聞けばよいと思う。
- ・委員の意見は開催と今後実施しないまたは今年度は中止が半々であるので、私の独断で開催を決めることはできない。

- ・他に意見はないか。

【丸田（松）委員】

- ・私は、令和4年度は、住民アンケートを実施し、中学生以上の幅広い住民から意見を聞くということなので、出張地域協議会をしなくてもよいという意見であるが、来年度は実施してもよいと思う。
- ・住民アンケートの始めに、例年は出張地域協議会を実施していたが、今年度は住民アンケートを実施し、中学生以上の幅広い住民から意見を聞くことにした旨、記載すればよいと思う。

【丸田会長】

- ・住民アンケートは11月末の会議を経てから12月に配布する予定であるので、回収が1月になる。今のところ、例年の出張地域協議会の開催時期には間に合わないもので、住民アンケートを意見交換会のテーマとするのは難しい。
- ・私の意見を除くと、今後実施しないまたは今年度は中止の意見が多いので、出張地域協議会は、今年度は中止ということでよいか。

【吉野委員】

- ・話を聞いていると前年度に初めて4地区で出張地域協議会を実施したことに対しての評価があまり高くない気がするが、以前の保倉地区と大島地区の出席者数と比べると前年度の4地区の方が出席者が多い。その理由は、近いからということと、それぞれの地区で役員の皆さんが一生懸命に声掛けをした結果であると思う。
- ・やはり声掛けをして、できるだけ出席してもらえる条件を考慮するのは重要であると思う。
- ・4地区で実施するかどうかは別にして、やはり地域に出向くことで地区の役員の皆さんが声掛けをしてくれて出席者が集まる。会場設営や参加者の確保などいろいろと難儀な点は出てくるが、地域に出て行かなければ、地域協議会を見に来る人はいないと思う。現在、傍聴人は10人としているが、10人以上傍聴するような方策を考えなければならないと思う。
- ・地域協議会の在り方そのものを問うというつもりで出張地域協議会の今後について考えていかなければならない。
- ・今年度は、中学生以上の全住民に対してアンケートを実施するので、アンケート実施を出張地域協議会後の意見交換会に替えるという意見については、異論はないが、

出張地域協議会をやめるという意見については、反対であり、もっと考えるべきで、見直すべき要素がある。

【丸田会長】

- ・今年度は時期的に4地区の実施はできない。もし、出張地域協議会を実施するにしても1月、2月にしないと準備が間に合わない。
- ・出張地域協議会をやめると再開することが難しいので、私としては、1月くらいから保倉地区と大島地区で実施したいと思うが皆さんの意見を聞きたい。

【山岸委員】

- ・前年度は旭地区で出張地域協議会を実施した。話題がありそうな人に一生懸命に依頼して出席してもらったが、依頼した時に出席を承諾していた人の多くが出席しなかった。依頼しても出席しないということなので、旭地区では開催しない方がよい。
- ・出張地域協議会をやめるよりも大島地区と保倉地区で出張地域協議会を実施した方がよいと思うが、今年度は中止でよいのではないか。

【飯田（敏）委員】

- ・菖蒲地区も旭地区と同じである。

【丸田会長】

- ・今年度は出張地域協議会を中止するという事でよいか。
(「はい」の声)

【岩野所長】

- ・出張地域協議会については、今年度は中止と決まった。次の開催に向けて、出張地域協議会を最初に実施した時の目的に今一度立ち返っていただきたい。
- ・先ほどの中村委員の発言のとおり、地域協議会が何をしているのか知らない住民が多くいるので、地域に出向き、住民に地域協議会の活動を分かってもらうことは大事である。
- ・意見交換会については、テーマを定めずに、何かありませんかと言っても、住民の皆さんはいろいろな話題を持ってきているわけではないので、テーマを事前に示したうえで、意見交換会を実施していただきたい。また、意見交換会は、一方的に要望を受けたりするのではなく、いろいろな意見をいただき、皆さんと一緒に話し合っ、このようにすれば地域がよくなるのではないかということなどを委員の皆さんがアドバイスしたり、今後の地域協議会の中で話を詰めていくような会にしてい

ただく。

- ・内容が変わらず、再度実施するという事になれば、「またか」という感じで人が集まらないと思うが、住民の皆さんが興味を持っている農業などのテーマを持って地域に出向いてもらうことが大事である。
- ・次回、開催する際にはそのような内容も含めて事前に協議していただきたい。

【丸田会長】

- ・今年度は、出張地域協議会を中止した。今、所長の発言にあったとおり、意見交換会だけ開催しても意味はある。出張地域協議会の時のように地域協議会と一緒にということになると、形式的に人が来てくれると思うが、意見交換会のみとなれば、人は集まらない。
- ・住民アンケートにも関係するが、皆さんの関心があることがいろいろ出てくれば、また、意見交換会をやりたいと思う。
- ・次に、その他（１）第８回地域協議会の開催日について、１１月２４日（木）時間は午後２時から開催としたいが、それでよいか。

（「はい」の声）

- ・他に発言を求める。

【中村委員】

- ・上達地内で橋梁の点検が予定されている。チラシが回覧されたが、期間が１０月２６日（水）から１１月１１日（木）までと長い、そんなに時間がかかるものなのか。

【岩野所長】

- ・詳細を確認し、中村委員に回答する。

【丸田会長】

- ・他に発言を求める。

【岩野次長】

- ・新市建設計画の変更について、８月３１日（水）に諮問があり、９月２７日（火）の第６回地域協議会において、皆さんから答申いただいた。本件については、２８区それぞれの地域協議会に諮問しており、１０月２７日（木）にその答申が全て揃う予定である。従って、本件の答申に対する通知は１０月２７日（木）以降になる予定であるので、ご承知おきいただきたい。

- ・ 3区中学校統合に向けた校名候補選定に係るアンケートの実施について、10月25日に広報の配布に合わせて、チラシを配布した。
- ・ チラシの内容については、住民の皆さんから11月14日（木）までに7つの校名候補の中から選択するようにアンケートするものである。
- ・ また、中学校の生徒や小学校4年生以上の児童の皆さんからも学校を通じて、このアンケートに協力していただくこととしている。
- ・ また、3区中学校統合については、3区中学校統合実行委員会設置準備委員会を設置し、9月28日（水）に第1回全体会議を開催し、会則（案）について承認され、正副委員長を選出した。実行委員長は浦川原中学校同窓会長である宮川氏、副実行委員長は、安塚中学校後援会会長の渡辺氏、大島中学校後援会会長の岩野氏を選出した。
- ・ また、全体会議と同時に行われた部会において、公募した校名候補の絞り込みを行い、7つの校名候補を決めた。
- ・ 今後、いろいろな検討や協議、準備が委員会や部会で進められていき、令和6年4月1日の統合に向けて進めていく。

【丸田会長】

- ・ 事務局の説明に対し、質疑を求めるとなし。
- ・ 他に発言を求めるとなし。
- ・ それでは、以上をもって第7回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-594-3101（内線61）

E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。